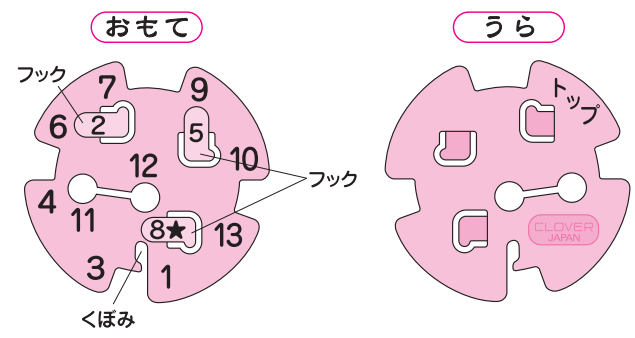


アジア 結美 むすび

きちょう 几帳結び

几帳(平安時代のインテリア)に飾られていた結びで、最もポピュラーな結びのひとつです。そのまま使うのももちろん、他の結びの続きに結んだり、小さく引き締めてヒモの先止めにしてもすてきです。



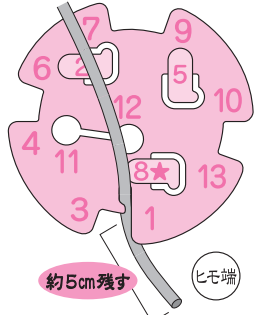
カードの色は
うぐいす色
です

〈はじめに〉
1~13まで、カードの数字
の順番にヒモをかけたり、
くぐらせたりします。

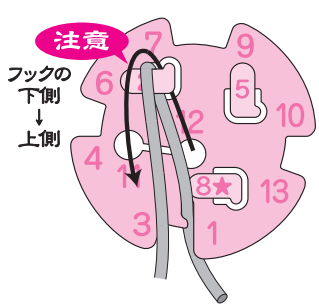
基本の手順

用意するもの... 太さ1~3mmくらいのヒモ(45cm程度)・接着剤(透明に仕上がるタイプ)

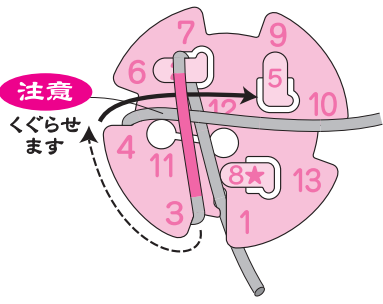
1 ヒモ端を5cmほど残して1のくぼみにかけます。



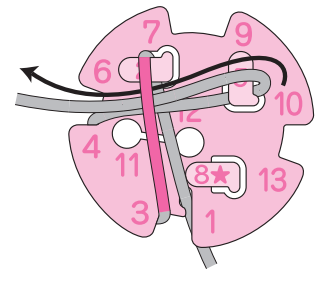
2 続いて2のフックの下側にはめこみ、フックの上側を通して引き返します。



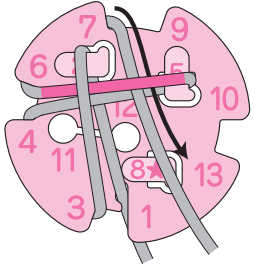
3 続いて3→4とかけて、2-3のヒモ(2のフックの上側と3の角との間)にかかっているヒモをくぐらせます。



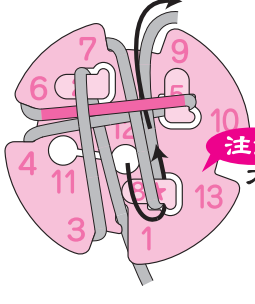
4 5のフックの下側にヒモをかけ、上側を通して引き返し、先ほどくぐらせた2-3のヒモに再びくぐらせます。



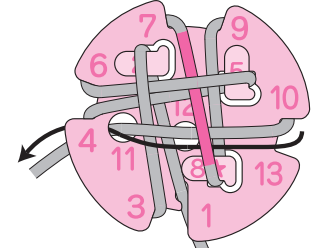
5 6→7とかけ、5-6のヒモ(5のフックの上側と6の角との間)にかかっているヒモをくぐらせます。



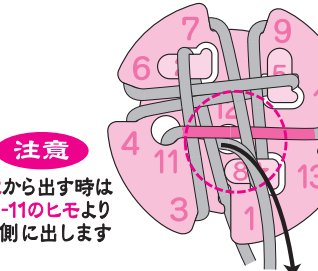
6 次に8★のフックにかける時は、フックの上側からかけ、引き返して下側にはめこみます。続けて、先ほどくぐらせた5-6のヒモに再びくぐらせます。



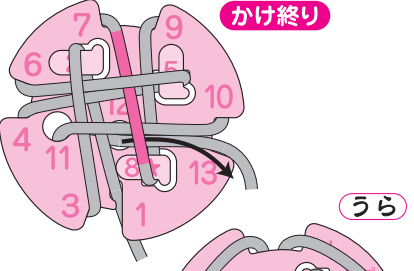
7 9→10とかけて7-8のヒモをくぐらせ、11の穴に入れます。



8 裏を通して、12の穴から出します。



9 先ほどくぐらせた7-8のヒモを再びくぐらせて13にかけ、かけ終了です。



うら

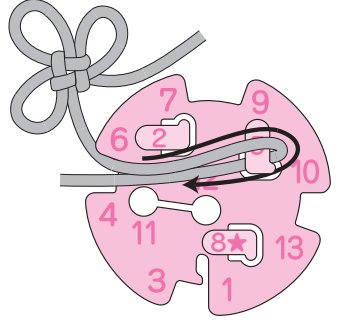
応用編

…連続して結ぶ方法
…他の結びに続けて結ぶ方法

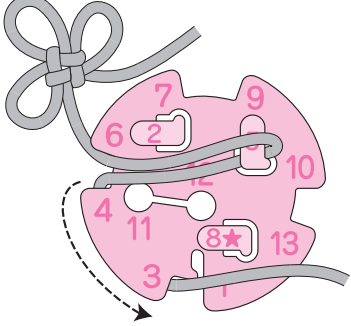
ヒモ端はそれぞれ20cm以上必要です



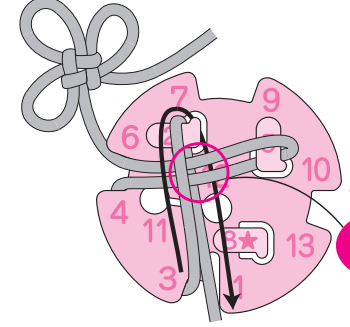
1 6と7の間(カード裏面に「トップ」の文字のあるところ)に結びを合わせます。



2 6から出ているヒモを5のフックの上から下へかけて4に引き返します。裏側を通して3に出します。

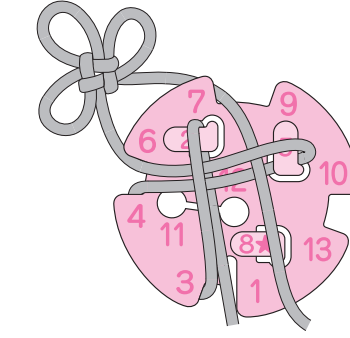


3 2のフックに上から下へかけ、カードにかかっている2本のヒモの下をくぐらせて1へ引き返します。

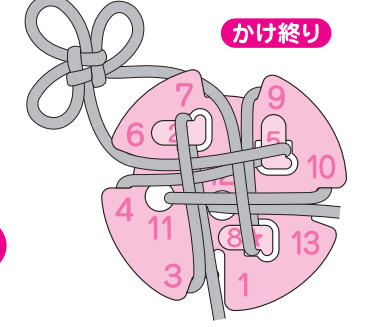


注意!
一番下をくぐらせる

4 7からもう片方のヒモ端を出し、「基本の手順」⑥~⑨にしたがって8~13までをかけます。



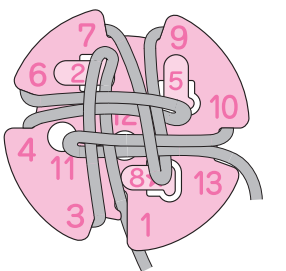
5 かけ終わったら、「基本の手順」と同じように結び目を強く引きしめます。



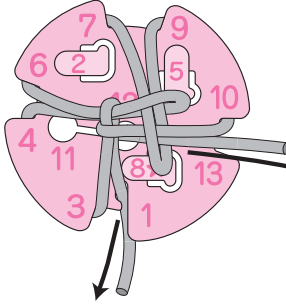
6 カードからはずし、輪を好みの大きさに整えます。



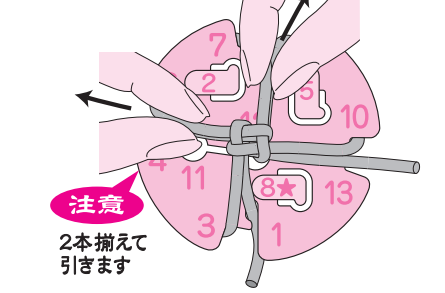
10 結びを引きしめていきます。11-12の穴にかかっているヒモをカードの裏側から押し出してははずします。次に表側のフックにかかったヒモを全部はずします。



11 ヒモ端を強く引いて、結び目を引きしめます。

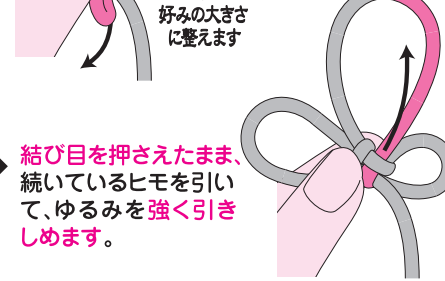


12 図のようにヒモを引いて、結び目を引きしめます。もう一度ヒモ端を引いて結び目を固く引きしめてからカードからはずします。



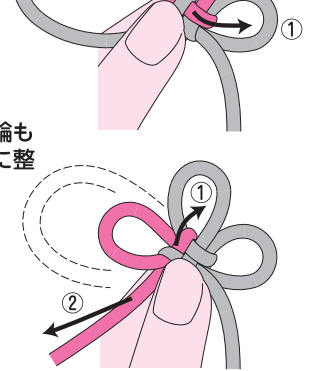
注意
2本揃えて引きます

13 輪の大きさを整えます。結び目がくずれないように指で押さえて、輪につながっているヒモを引きます。



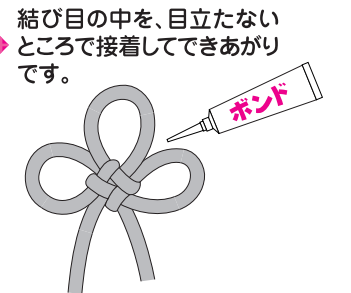
14 結び目を押さえたまま、続いてヒモを引いて、ゆるみを強く引きしめます。

15 同じやり方で、結び目を押さえながらつながっているヒモを引いて、隣の輪の大きさを整えます。



16 3つ目の輪も同じように整えます。

完成



使用上の注意
●商品の機能上 柔らかい樹脂でできています。ヒモによる摩擦や爪などでもキズが付きやすいので、取り扱いに注意して下さい。
●ストーブの周りや車内など、高温になるところや直接日光の当たる所に放置しないで下さい。変形の原因になります。

〈おためしヒモについて〉
●水ぬれや光により色落ちする場合があります。直射日光を避け、湿気の少ない所に保管して下さい。
●水ぬれや摩擦により、紐の堅さやツヤなどの特長が、損なわれることがあります。
●衣服などに接する場合、汗や水ぬれなどにより色移りすることがあります。充分にご注意下さい。